

ほけんだより

命のつながりについて勉強しました！

10月1日に3・4年生で「命のつながり」についての授業をしました。『いのちのまつり ヌチヌグスージ』（作：草場一壽 絵：平安座資尚）という絵本の読み聞かせを通して、命をつなげてくれたたくさんのご先祖さまのおかげで今の自分の命があることに気づき、自分や友だちの命の大切さを改めて考えることができました。

《本の読み聞かせをしている様子》



「顔や名前のわかるご先祖さまは10人くらいいるけど、実際どのくらいいるのだろう？」とページをめくってみると…「えー！」「そんなに！」とよいリアクションをとりながら聞いてくれました😊

《本の感想について共有している様子》



自分に命のくれたご先祖さまへの感謝の気持ちがわいてきて「お墓参りに行かなくちゃ」という声も聞こえました😊



「ご先祖さまってどのくらいいるんだろう？」と数えきれないくらいの命のつながりにびっくりしている様子でした。



《授業のふり返り》

このクラスがこの人数で9人メンバーでできていることにオホーをとおもった。

自分もごせんでさきからもらった命をつないでいくことが分かった。

また命をうしなてもつぎにつなげくりがえしになると思った。

たくさんの方が命をくれたと言ったことを思い出した。
わたしたちも大きくなったら命をあげられるように思った。

今ある自分の命がたくさんのご先祖さまからつながってきている大切な命であること、また自分自身も命をつないでいく存在であることを感じてくれたようでした。子どもから私の出産への応援メッセージももらえてうれしかったです♡

ご家庭でも今回の授業をきっかけに、ご家族のことや命についてなど、ぜひお子様と一緒にお話をしていただけたらと思います。性教育は今後の子どもたちの健やかな体と心の成長のためにとても大切な教育です。学校と家庭で協力して行っていくことが重要だと考えています。授業の内容等でお聞きになりたいことがあれば、ご連絡ください。